

『クララとお日さま』

カズオ・イシグロ／土屋政雄訳 早川書房



本館	請求記号：J/933/I73	資料ID：701736712
神田分館	請求記号：J/933/I73	資料ID：701727547

ハヤカワepi文庫

本館	請求記号：X/908/H46/Ish	資料ID：701830002
----	--------------------	----------------

商学部教授 渡邊 隆彦

カズオ・イシグロの『クララとお日さま』は、「人間とは何か」を静かに、しかし深く問いかけてくる物語です。舞台は近未来。人工知能を持つ「AF（人工の友だち）」のクララが主人公です。クララは店のショーウィンドウから外の世界を眺め、人間の子供も・ジョージーに選ばれて一緒に暮らすこととなります。彼女はいつもまっすぐで、相手を思いやる優しい存在です。しかし、ジョージーが病気になったとき、クララは「お日さま」の力を信じて祈ります。その姿は、まるで人間よりも人間らしい心をもっているように見えます。

この作品は、テクノロジーが発達した時代においても、「愛」「信頼」「希望」といった人間の本質的な感情がどれほど大切かを教えてくれます。AIやロボットが人間に近づくほど、逆に「人間らしさ」とは何かを改めて考えさせられるのです。

大学生の皆さんにぜひ読んでほしいのは、この小説が「答え」を押しつけないからです。クララのまなざしを通して、自分自身の生き方、他者との関係、そして社会のあり方を静かに見つめ直すことができます。やさしい言葉で書かれていますが、その奥にある問いはとても深く、読み終えたあとも心に残る一冊です。